



# 春里中学校

学校だより 令和5年度 3月号

TEL 048-683-3458

FAX 048-683-8979

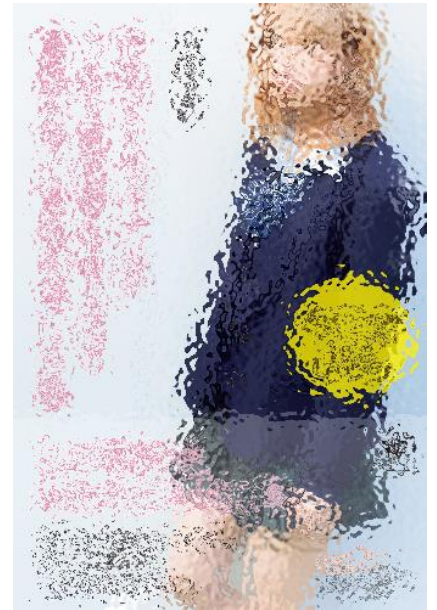
## 学校教育目標

自ら学ぶ生徒  
思いやりのある生徒  
健やかな生徒

## 自分の「好き」を突き詰めよう

校長 小倉 弘一

本校では、今年度も3年生を対象に2学期後半から順番に校長・教頭面接を実施しました。今年は面接を始める前に、私が3年生の各教室で進路指導に関する授業を1時間行いました。その授業では、「一生涯のうち成し遂げたいことや、将来の夢をもとう」と促すとともに、「成し遂げたいことや夢を実現させる年齢から逆算して人生設計をして、高校生活でやるべきことを見定めよう」と話しました。将来の目標を定め、それを達成するために計画的に自分を向上させることは、今を充実させることにつながるからです。



この授業や、校長・教頭面接をきっかけに、将来のことや自分自身のことを深く考えるようになった3年生がいたようです。生徒の中には、成し遂げたいことや夢について、校長・教頭面接で熱く語る生徒がいました。でも逆に、まだ自分の夢を見出せずにいる生徒もいました。そこで…、

120万部を超えるミリオンセラーを記録した「学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶応大学に現役合格した話」の著者である坪田信貴さんが、将来何をしたらいいかわからないという中学生に対して、雑誌で次のように述べていらっしゃいましたので紹介します。

「中学生が将来やりたいことがない状態は当たり前のこと。なぜなら中学生は生きてきた中で得た経験や知識はまだわずかだから。仕事は未知の世界。中学生が持っている知識や経験を超える世界なのだ。」と。

しかし、分からないから何もしないよりも、将来を見据えて、それに向かって計画的に努力する方が豊かで充実した生活であることは事実です。

ならば、まだ将来の夢を見出せない生徒は、まずは自分が好きだと感じることや楽しいと思うことを一生懸命に突き詰めてみてはいかがでしょうか。いつの世もエネルギーの源は好奇心と楽しさです。ワクワクしながら自分の興味のあることを一生懸命に取り組んでいくことこそが、自分の人生を切り拓いていくためのはじめの一步になるのではないのでしょうか？

本校の学校ホームページの「今週の1枚」のコーナーにて、本校生徒の学校教育活動の様子を写真入りで紹介しています。おおむね一週間に一回程度のペースで更新しています。是非ご覧ください。



